

フリースタイルな 僧侶たちの フリーマガジン

2010/10・11
Vol.8
Japan

since 2009.8

Webサイトもチェック!

- ▶ メールマガジンやPodCastの配信などWeb独自のコンテンツが満載!!
- ▶ アンケートに答えてオフィシャルスポンサー・薫寿堂様よりお香のプレゼントをゲット!!

フリースタイル 僧侶 検索

<http://freemonk.net>

イベント・法要 クローズアップ!!

- ▶ 10/31(Sun) SOCIAL FUNK!
(京都・西本願寺 聞法会館)
- ▶ 11/11(Thu) 京町屋で仏教体感!
(京都・レストラン佛沙羅館)
- ▶ 11/20(Sat) ヨガ+瞑想+仏教
トークライブ(大阪・天王寺)
- ▶ 12/9(Thu) いのちの日いのち
の時間(大阪・天王寺)
- ▶ 12/9(Thu) 京町屋で仏教体感!
(京都・レストラン佛沙羅館)

お坊さんは面白い!!

檀王法林寺・信ヶ原雅文住職

京町屋で仏教を感じてみませんか?

フリースタイル年記絵トークライブに参加して
ヘルシー精進レシピ・お豆腐ケーキ作り



視野を広く持つて、積極的に

「若い僧侶には、視野を広く持つて積極的に活動して欲しい。そういう意味で、超宗派で若い人たちが汗をかいている『フリースタイルな僧侶たち（略称フリスタ）』というプロジェクトは面白い試みだと思う」と力強くエールを送ってくれるのは、京都・三条にある檀王法林寺（だんのうほうりんじ）の信ヶ原雅文（しがはらがぶん）住職。「これからも応援していきたいま

すよ」と、笑顔を見せる。同寺は「だんろうさん」の愛称で親しまれ、地域に根差した活動に積極的に取り組む。一般家庭に育ち、小学校の教員を経て26歳の結婚を機にお寺に入ることになった住職は「56歳を迎えるが、お坊さんという仕事は、ずっとやっつけても飽きないし魅力的だ」と。

地域と連携したお寺として

「檀信徒だけではなく、地域と連携し

お坊さんは面白い!!

——檀王法林寺・信ヶ原雅文住職(56歳)



江戸の中頃より伝わる黒招き猫は、盗難や火災に御利益があるという



境内はだん王保育園の園児らの明るい声で賑わう

て『平和と命の尊さ』を伝えていくのが、僧侶の「本分」との考えから、同寺では毎年8月6日に原爆・戦争犠牲者追悼法要が執り行われている。長年、地道に行ってきた功績が実り、メディアなども取り上げる恒例行事と認知されている。地域の人々を中心に、普段はお寺とは縁の浅い人々も多く集まるのが特徴。「お寺に来るのは、お葬式の時だけではない」と儀礼の大切さを強調しながらも「お葬式だけに促されてはいけない。お葬式は遺族に対してのケアの意味合いもあり大切なこと。仏教は生きた人々のために実践していかねければ」と信ヶ原住職。「そのためにも必要なのは、いきなりイベントをするのではなく、普段から『こと』と平和や命の話をみんなにしていこう」と。

お寺は文化の宝庫

「お寺には興味深い文献や歴史的意義のあるものがたくさん集まっている。それらを使って地域の人たちと一緒に『学んでいく』姿勢を大切にしたい。お寺には普通に生活しては出会えない空間があり、文化が息吹いている。社会に開放することは、何よりも大事なことです」。

「何か困ったことが起こった時に、とりあえずお話を伺う場としてお寺を地域に開放することは大切だと思ふ。住職は敷居を低くし、気軽に門をくぐれるような体制を整えておくことが必要なのではないか。実際に『困ったときの、だんのおさん』とおっしゃってもらった時が、一番うれし」と笑顔を見せる。

檀信徒らからの絵画などの公募を中

心とした「文化展」も今年から行う予定。お寺を訪れる人々から「自分たちの作品の発表の場がない」という声を受けてのものだ。「一生懸命に描いた絵や、撮影した写真などが第三者からも評価されるきっかけになれば」。

子供に親しまれる「だんのうさん」として

「境内から子供の笑い声が常に聞こえているお寺であるべきだ」という想いが、開創以来、同寺に脈々と伝わっている。戦後まもなく「だん王保育園」と「だん王児童館」を併設したことも、それを物語っている。

同寺は浄土宗名僧の一人、袋中(たいちゅう)上人によって再興され、来年に開創四百年を迎える。袋中上人は諸国を巡り、数々の寺院を再興、あるいは建立したことで知られ、特に沖繩での布教は有名。時の琉球国尚寧王は深く帰依した。現在、沖繩の伝統芸能「エイサー踊り」も念仏が発祥であり、同寺と沖繩の縁も深い。

「開創四百年に加え、浄土宗の宗祖・法然上人が亡くなって八百年の大遠忌を迎える。その遺徳をしのび、沖繩との繋がりを重視した法要や行事を催していきたい」と。更に「袋中上人は、法然上人と同じく一般の人々を救済することを第一に考えて行動された。その結果として地域が復興したり、新しい波を各地に起こすことになった」と上人の軌跡を語った。

同寺に込められた想いを、脈々と受け継ぐ信ヶ原住職は「これからは、ずっと一般の人々に役立つお寺であり続けたい」と、熱く語ってくれた。

(取材 副編集長 仲西俊光)

だんのうほうりんじ 浄土宗 檀王法林寺

〒606-8387 京都市左京区川端通三条上る法林寺門前町36

Tel (075)771-0870 / Fax (075)771-0010

<http://www.dannoh.com/>

※本堂のご拝観をご希望の方は、事前にご連絡ください。

■交通・アクセス

京阪電鉄「三条」駅・京都市営地下鉄「京阪三条」駅下車、8番出口より徒歩1分

※車いすでお越しの方は、川端通沿いの「川端門」よりお入りください。



京町屋で仏教を感じてみませんか？

～お坊さんと語ろう～

Vol.1 2010.11.11(Thu) 19:00

Vol.2 2010.12.9(Thu) 19:00

Fee: 2,000yen(一般) / 1,500yen(フリスタ会員)

※1プレート付 / 定員20名

※参加費の一部は寄付活動のために用います

ようこそ、京町屋のタイへ

賑々しい京都の中心地・四条通から木屋町筋を南へ、風情ある高瀬川沿いの街並みを眺めながら歩くこと数分。閑静な一角にタイの国旗が目にとまる。

「よつこぞ、町屋のタイへ」という看板に誘われ、のれんをくぐると、店内は京都らしい上品で粋な空間をかもしながらも、そのうたい文句に違わず異国情緒をたたえている。タイ国商務省によって、「本場のタイ料理を味わえるレストラン」と認定されるこのお店は、訓練を積んだタイ人がシェフをつとめる本格派。食材やスパイスはタイ産のものを用い、メニューには本場の料理がびっしりと並ぶという徹底ぶりだ。

レストランを文化交流のかけしに

レストランを経営する宇野克子さん(写真左)に話を聞いてみたところ、「料理はもちろん、タイの文化をまるごと味わえる空間を作りたかった」と想いを語ってくれた。アジアから留学生たちを招いて「食の祭典」を企画し、その収益をタイのチットアラー福祉教育学校に寄付するなど、社会的な活動も行うオーナーならではの言葉だ。

宇野さんは熱心な浄土宗檀信徒の家庭で育ったという環境も手伝ってか、タイの仏教文化には特に関心が深く、「佛沙羅館(ぶつさらかん)」という店名も、僧侶が着る衣の色を表すタイ語「ブッサラカム」から命名されたのだとか。

「タイを訪れると人々は街の中で自然

と手を合わせる習慣があるし、家族の中から一人でも出家すれば最上の幸せとされるんです」と真剣な眼差しで語り、一方で「日本の仏教にはなかなか親しく触れ合う機会がない」と残念そうな表情。「日本でもお坊さんと気軽に話せて、悩みも相談できるなら、きっと社会も明るくなるはず」と仏教に力強い期待を抱き、「このレストランがそれを解決するための空間になれば」という。

お坊さんと一緒にカレーを食べませんか？

そのような宇野さんの想いを伺い、「フリースタイルな僧侶たち(略称フリスタ)は早速に始動。『つきいちボンサ』と語ろう会くボンズクラブ」を20年以上にわたって主宰する日蓮宗・杉若恵亮和尚(写真中央)にも協力を依頼するなど、個性的なお坊さんたちに現在出演を交渉中。タイ料理を味わいながら仏教を語り合う楽しいひとときに、気軽に遊びにきてみませんか？

タイ料理 佛沙羅館

〒600-8015 京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1
Tel (075)361-4535
<http://www.bussaracan.com>

時間: 11:30~14:00 / 17:00~22:00(L.O.)
定休日: 水曜日

●交通・アクセス
阪急電鉄京都線「河原町」駅より徒歩7分
京阪電鉄「四条」駅より徒歩10分
タクシーにて木屋町高辻東入ル





2010.9.11 フリスト1周年記念 トークライブに参加して

コピーライター 小森悦示 (こもりえつじ)

イントロダクションだった

そう、「フリスト1周年記念トークライブ」は、私のような初めて仏教イベントに参加した人間にとっては導入部分、つまりはじまりの場だったのだ。

質問コーナーで、『フリースタイルな僧侶たち』の活動がスタートした経緯を教えてほしい」という参加者からの質問に対し、代表の池口氏が、「仏教に触れるきっかけのようなものになってくれたらと思って」という回答をされた折に、そのイントロダクションという言葉が口にされた。

私だけだろうか？その瞬間に肩の緊張が解け、参加者が埋め尽くされた畳の部屋がなんだかグッと広がり、そしてより緩やかな空気が流れるようになった気がした。

イントロダクション、それは物語のはじまり部分。つまり、きっかけ。

私たちには「仏教」という壮大な物語を読み出す、イントロダクションが必要なのだ。

仏教に興味を持つようになったきっかけ

私自身の話をすると、仏教に興味を持ち出したきっかけは5年前に遡る。それは奈良国立博物館に行った時のこと。当時、まったく仏教にはもちろん、仏像にも興味がなかった私は漫然と眺めながら、歩いていた。すると、どこからか学芸員の方が歩み寄ってきて、こうおっしゃったのである。

「仏像には当時の人のさまざまな願いや祈りが込められています。だから一人一



人、顔が違つのでじっくりと観てみてください。そう思いながら眺めてみるとなるほど確かに顔つきはそれぞれ違う。それが、仏像の親方が変わった瞬間だった。そして魅了された私はいろいろと仏像を見て回った。すると今度はそれを祀るお寺について知りたくなる。さらにそのお寺の宗派についても知りたくなる。

最終的には仏教とは何かを知りたくなった。

そして私は今日、私の仏教へのイントロダクション、「フリスト1周年記念トークライブ」の場にいる。

続いていくことの大切さ

代表の池口氏と副編集長の仲西氏との笑いも交えた軽妙なトークライブが終



了した後、カレーパーティーの席で再び池口氏の口から「5年、10年と続くようにならばっていきましょう」。ありきたりな言葉かもしれないが、私にとってはとても印象的だったし、心強く感じた。

今日のイベントは5年後、10年後を考えた時、フリストにとって少しだけ長い導入部分の終わりだったのではないだろう。これから物語はさらに続いていくのだ。そうやって、静かに語り始められたあとは、少しずつトーンを高め、重層の響きを加え、より多くの人の心へと伝播していくのだろう。

とはいえ、これからも時々々は途中から物語を読み出す人のために今回のようなイントロダクションをやっていただけばと思う。

フリストの物語は続く。そして…仏教の未来への旅も続いていくのだ。

甘くないお惣菜ケーキとして流行中のケーキサレ。
お豆腐を使ってもっちりした食感に仕上げます。
豆乳ホイップで作るチーズ風味のディップを添えてどうぞ。

お豆腐ケーキサレ

材料(17~20cmパウンド型1個分)

〈生地〉

薄力粉 100g
豆腐(絹ごし) 100g
ベーキングパウダー 大1
オリーブオイル 70cc
レモンの皮 1個分(おろす)
塩こしょう 適量

〈具材〉

赤パプリカ 50g
ズッキーニ 50g
にんじん 50g
マッシュルーム 50g
トマト 1個
エシャロット 2個



〈チーズ風ディップ〉

豆乳ホイップ 200cc
レモン汁 1個分
塩 少々
ハーブミックス 適量



1 パウンド型にオリーブオイル(分量外)を塗っておく。オーブンを170度に予熱する。

まずトマト以外の野菜を全て5mm角のダイス状に切り、エシャロットとマッシュルームはオリーブオイルで炒め、冷ましておく。



2 生地を作る。ボウルに豆腐を水切りせずに入れ、なめらかになるまでつぶす。薄力粉とベーキングパウダーは一緒にふるい、ボウルに加えていく。

レモンの皮も加えて、よく混ぜる。全てがよくなじんだら、オリーブオイルを少しずつ加えながら分離ないように混ぜる。塩こしょうで味をととのえる。

3 2の生地に野菜を全て加えて混ぜ、パウンド型に流し込む。底を軽く打ちつけて空気を抜いたら、スライスしたトマトを乗せて飾り、オーブンに入れる。様子を見ながら40分程焼く。



4 焼いている間にディップを作る。豆乳ホイップをボウルに入れ、塩とレモン汁を加えて混ぜる。一回り大きいボウルに氷水を入れ、豆乳ホイップのボウルを入れて冷やしながら泡立て器でたてていく。好みの固さまでホイップし、ハーブミックスを加えて軽く混ぜる。

5 焼きあがったら粗熱が取れてから型から外す。冷めたらスライスして、ディップを添えてサーブする。

written by

Ayaka Ireguchi

(料理愛好家)

12/9
thu

大阪・天王寺

いのちの日 いのちの時間 第2回 自死者追悼法要

今年1月、警察庁より昨年の自死(自殺)者が32,753人であったと発表がありました。12年連続で3万人を超えています。ある新聞は「毎年、小さな市がまるごと消えてしまうようなもの」と表現しました。

自ら命を絶たなければいけないほど追い込まれてしまった方の苦しみはいかばかりかと存じますが、大切な家族を突然に、自死(自殺)という形で失ってしまった遺族の悲しみや苦しみもまた深いものです。大切な方を失くただけでなく、さらに、自死(自殺)ということによる周囲からの偏見や、「自分が救ってあげられなかった」という自責の念もまた、遺族の大きな負担となっています。

毎年10万人以上の自死(自殺)遺族が生まれています。そして、その多くは悲しみを心のうちに秘めたまま、大切な方を追悼する場もないままに暮らしています。ご遺族に、ゆっくりと安心して大切な方を偲んでいただく場を持っていただきたい。その思いから、昨年12月に融通念仏宗総本山・大念佛寺にて「自死者追悼法要 いのちの日 いのちの時間 関西」を勤修しました。参加者からは「安心して大切な人を思い出し、悲しめる場を初めて持てた」との感謝の言葉もいただきました。

今年も以下のとおり法要を勤修いたします。故人を偲び、ご遺族の方々の悲しみを和らげる「いのちのひととき」となれば幸いです。

日時：平成22年12月9日(木) 13時(法要1時間・茶話会1時間)
会場：四天王寺 五智光院
〒543-0051 大阪府天王寺区四天王寺1-11-18
(大阪市営地下鉄谷町線「四天王寺前」駅から徒歩5分)
参加費：無料(ただし事前にお申し込みください)
対象：家族・親戚・恋人・友人・同僚など大切な方を自死でなくされた方

■お申し込み・お問い合わせ
自死に向きあう関西僧侶の会
<http://www.inochinohi-kansai.com/>
info@inochinohi-kansai.com

11/20
sat

大阪・天王寺

フリスタ仏教トークライブ 「南無阿弥陀仏」ってなんだろう?

今年5月に京都で行われた第8回仏教トークライブ。真言宗と浄土宗の2人の僧侶が繰り広げ、笑いの中にも、みんなから感嘆の息が漏れるような「意外な発見」もあり、和やかなムードの中に幕を閉じました。

宗派が異なれば、考え方も違えば、修行の仕方も違うのは当然のこと。それでこそ、様々な宗派があるわけですね。でも、それぞれの教えを実感する機会にはなかなかありません。

「真言宗×浄土宗」でお届けした第8回トークライブでは、真言宗の教えをクローズアップしましたが、今回は真言宗の小野剛賢(写真左)が不思議に感じるところを、浄土宗の池口龍法(写真右)にインタビューする形でお届けし、違いなどを語り合います。

「南無阿弥陀仏」とはいったい? 宗祖法然上人の伝えたかったことは? どうぞお気軽にご参加ください。

日時：平成22年11月20日(土) 13時30分開始~17時
第1部 13時30分 陰陽ヨガ教室(講師:石川奈々子)
第2部 15時 阿字観瞑想教室(講師:小野剛賢)
16時 仏教トークライブ
会場：STUDIO GREEN
〒543-0062 大阪府大阪市天王寺区逢坂2-3-2
リンクハウス天王寺ビル2F
(大阪市営地下鉄谷町線「四天王寺前」駅から徒歩5分)
参加費：第1部2,000円 第2部1,500円(フリスタ会員は第2部1,000円)
定員：第1部20名 第2部40名(事前にお申し込みください)
※ヨガ教室にご参加の方に、次回ヨガ講座500円割引クーポンプレゼント!!
※動きやすい格好、又はお着替えをご持参ください。
※第2部の参加費は左記「いのちの日 いのちの時間」に寄付します。

■お申し込み・お問い合わせ
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口龍法
Tel (090)5896-6478 / senrenja@gmail.com
※「フリースタイルな僧侶たち」ホームページからも申し込みできます。

仏教 体感

10/31
sun

京都・下京区

SOCIAL FUNK! Know (≠no) more cancer! 「がん」を知ろう!

音楽×アート×医療福祉。
踊るだけでなく、学べるクラブイベント!
各ジャンルの最前線で活躍するキーパーソンを招いて開催。DJ・ライブ・VJ・トーク・パネル展示などあらゆる方面からスタイリッシュにアプローチ。おつとめ体験のワークショップもあります!

日時：平成22年10月31日(日) 12時~20時
Live：Nabowa / 東田トモヒロ / marc-eco
DJ：no.9 (轟の響 / liquid note records) / Kuni Lopez (7Hz)
Talk：上野直人氏 (MDアンダーソンがんセンター)
Maiko (モデル・乳がんサバイバー)
三田果菜 (Happy Beauty Project代表)
VJ：mitchel (nego)
入場料：前売2,500円 / 当日3,000円(※500枚限定)
お着物着用のお客様は1000円が入場可能!
会場：西本願寺 聞法会館 *会場禁煙*
〒600-8357 京都府京都市下京区堀川通花屋町上ル
(JR京都駅から徒歩15分)
主催：Ubdobe (ウブドベ)
協力：NPO法人キャンサーネットジャパン

■お申し込み・お問い合わせ
info@ubdobe.jp <http://www.ubdobe.jp/>



Coming
Soon!!

全国ロードショー

アブラクサスの祭 芥川賞作家・玄侑宗久作初の映画化!!

禅寺に勤める僧侶・浄念。「うつ」という精神的な病を抱えながらも、愛する奥さんと子供と仲良く暮らしている。法務は生来の不器用さも手伝って、法事や説法が思い通りにいかず、悩む日々。

そんな浄念の心にひっかかっている、自分にとってはなくてはならないもの…それが音楽だったのです。そしてついに、「ライブをやりたい!」しかし、妻は反対。住職は不安顔…そんな中で住職の奥さんは「しっかりやりなさい!!」と後押しを。檀家の中からも「是非やって欲しい」という声も出てきます。果たしてライブはどうなる?!

音楽に向き合うことで懸命に生き抜こうとする僧侶と、彼を支えながら不思議と癒されていく周囲の人々を描いた「アブラクサスの祭」。
物語にちりばめられているのは、「自分」をまるごと受け入れる「禅」的なヒントなのではないでしょうか。

主人公の浄念は、映画初主演となるミュージシャン・スネオヘアー。彼を支える妻・多恵をともしかりえが熟演。夫婦漫才のように絶妙なやりとりを繰り広げます。くすくす笑いホロリと泣きながら、悩める僧侶の生き方を感じられる、まっすぐな映画が誕生しました。
原作は、福島県にある福聚寺の現役住職で芥川賞作家の玄侑宗久。オール福島ロケの本作。
息子役ほか、オーディションを勝ち抜いた地元キャストも多数参加。「祭」を盛り上げています。

出演：スネオヘアー / ともしかりえ / 本上まなみ
原作：玄侑宗久『アブラクサスの祭』(新潮文庫刊)
監督：加藤直輝

12月25日(土)よりテアトル新宿ほか、全国ロードショー!

フリスタ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援して下さいな人を大募集中!!
「サポーターズ・クラブ」と「リーダーズ・クラブ」があります。

■フリスタ・サポーターズ・クラブ

対象者 フリスタを応援していただける方

協賛年会費 5千円

※ フリスタ・サポーターズの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また、フリスタ主催の各種イベントにおいて、優待いたします。

■フリスタ・リーダーズ・クラブ

対象者 仏教に関する資格や知識を持ち、フリスタの指導者として活動していただける方

協賛年会費 1万円

※ フリスタ・リーダーズの皆様は、フリスタの指導者として、各種活動に参加していただけます。また、フリスタ・サポーターズ同様のサービスも含まれています。

お申し込み、お問い合わせは、フリースタイルな僧侶たち編集部(電話番号などは下記)まで。ホームページからお申し込みいただけます。



表紙作品
「僧侶たちの夢幻的な
国際交流」

釋本有

インド、中国、韓国、タイ、
ベトナム、日本——。
僧侶たちが出逢うなら
そこにはきっと
夢のような世界がある。

中国香港の僧侶。70年代に香港に生まれ、90年代に日本留学を経て、東京芸術専門学校(TSA)美術専門課程研究科卒業。帰国後は主に中国の寺院にて絵画の発表を行う。

本有は、特別宣紙の皮紙に、修行生活からイメージした仏教世界を描き、その作品は非現実的な世界が現出されるのが特徴的である。

仏と優しい光あふれるその空想画は、「心に安らぎをもたらす絵」として、中国老若男女幅広い層で多くの支持を得ており、デビュー以来、画集・カレンダー作品集等を出版発表。

現在は、中国の福建寺・大理に活動の拠点を置き、アジア各地を訪問しながら精力的に制作活動を続けている。

協賛のご報告

本誌発行にあたり、以下の皆様よりご協賛をいただきました。
厚く御礼を申し上げます。

- 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
 - 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)
 - 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
 - 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
 - 円融寺 (東京都目黒区・天台宗)
 - 教伝寺 (京都府船井郡・浄土宗)
 - 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
 - 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗)
 - 光明寺 (滋賀県草津市・真宗興正派)
 - 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
 - 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
 - 浄観寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
 - 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
 - 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
 - 勝樂寺 (東京都町田市・浄土宗)
 - 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
 - 瑞聖寺 (東京都港区)
 - 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
 - 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
 - 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
 - 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
 - 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
 - 念佛寺 (三重県伊賀市・浄土宗)
 - 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
 - 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
 - 法然院 (京都府京都市左京区)
 - 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
 - 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
 - 龍光寺 (和歌山県海草郡・日蓮宗)
 - 和田寺(オサン)ガ道場 (浄土宗)
 - 株式会社 薫寿堂 (兵庫県神戸市)
 - 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)
- ※ 五十音順に表示しています。
※ 協賛は随時受け付けています。

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成22年10月1日発行 第8号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒661-0982 尼崎市食満6-11-15

TEL090-5896-6478(池口) / 070-5658-4922(仲西)

info@freemonk.net

http://freemonk.net

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

表紙イラスト

写真

題字

DTP&デザイン

ライティング・

ディレクション

企画・制作・編集

総指揮

釋本有

掛川雅也(カメラマン・フリスタ専属)

しらたきなべお

池口龍法 仲西俊光

仲西俊光

池口龍法 仲西俊光

池口龍法